

古文ドリル：「ぬ」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） **著作権：**個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「ぬ」の正体（4パターン）

古文の「ぬ」には大きく **4種類** あります。

種類	接続/品詞	例
① 完了の助動詞「ぬ」 終止形	連用形接続	花咲きぬ（咲いた）
② 打消の助動詞「ず」 連体形「ぬ」	未然形接続	花咲かぬ（咲かない）
③ ナ変動詞「往ぬ」「死ぬ」の活用語尾	ナ変動詞	春過ぎて夏来たりぬ／死ぬる人
④ 下二段動詞「寝（ぬ）」の終止形	下二段動詞	静かに寝ぬ（眠る）

識別の鉄則

1. **直前**の語の活用形を見る（連用形→完了 / 未然形→打消）
2. **直後**の語との関係を見る（句点・助詞・体言など）
3. ナ変「死ぬ・往ぬ」、下二段「寝（ぬ）」は語幹そのものに「ぬ」がつく一語動詞
4. **下二段「寝（ぬ）」**は終止形「ぬ」・連体形「ぬる」・已然形「ぬれ」と活用。「寝（ね）」と読み分け、文脈で「眠る」の意味なら下二段

最初の20問はこの4パターンの基礎、後半に進むにつれて「ぬ」の前後にさらに助動詞が絡む応用問題、さらに難関大の実戦問題へとレベルが上がります。

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。
こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① 「ぬ」を見たら 直後 をまず見る

- ・ 直後が **句点（。）**／終止 → **終止形** → 完了「ぬ」終止形（または下二段「寝ぬ」）
- ・ 直後が **体言（名詞）** → **連体形** → 打消「ず」連体形「ぬ」で確定
- ・ 「ぬ」の8割はこれだけで分かれる。

コツ② 「○○ぬ」の○○の母音で打消／完了を即決

- ・ 前がア段（咲かぬ／知らぬ／見えぬ）→ 未然形＋ぬ → **打消「ず」連体形**
- ・ 前がイ段（咲きぬ／知りぬ／見ぬ※エ段含む）→ 連用形＋ぬ → **完了「ぬ」終止形**
- ・ 「ぬ」の前の動詞語尾の母音を見るだけ。考えるな、見ろ。

コツ③ 「死ぬ／往ぬ／寝ぬ」は形を見た瞬間に終了

- ・ 「死ぬ」「往ぬ」→ **ナ変動詞の終止形**（一語）
- ・ 「寝ぬ（いぬ／ぬ）」で「眠る」の意 → **下二段動詞**
- ・ 「往ぬる人」「死ぬる時」は連体形なので注意（「ぬる」の形）。

コツ④ 訳語で最終確認

- ・ 「～してしまった／～た」と訳せる → **完了**
- ・ 「～ない／～ぬ」と訳せる → **打消**
- ・ 一発で訳して通る方が正解。

試験本番でのチェック順序

1. 「死ぬ／往ぬ／寝ぬ」の形か確認（YES → ナ変・下二段で終了）
2. 直後を見る（体言ならほぼ打消連体形）
3. 直前の母音を見る（ア段＝打消、イ段＝完了）
4. 訳で確認

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- ・ 「**見ぬ**人」のような上一段動詞 → 「見」は未然形・連用形同形なので **直後の体言** で打消連体形と判断
- ・ 「**ぬる／ぬれ**」の活用形を完了と思い込む → 完了は終止形「ぬ」だけ。「ぬる」「ぬれ」は完了「ぬ」連体形・已然形 or 下二段「寝」の活用形
- ・ 連用形に上一段や下二段が来ると母音判定が効かない → 訳で打消か完了かを判断

採点表

各セクション末に空欄を残してあります。最後にトータルで「100点満点中何点取れたか」を記録してください。

- ・ 基礎（Q1～Q20）： ／20
- ・ 標準（Q21～Q50）： ／30

- 応用 (Q51～Q80) : /30
- 入試レベル (Q81～Q100) : /20
- 合計 : /100

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

4パターン (完了・打消・ナ変・下二段「寝」) をただ識別する基本問題。

Q1. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

花咲きぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 **解説：**直前「咲き」は四段動詞「咲く」の連用形。連用形＋「ぬ」＝完了。

Q2. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

花咲かぬ夜。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**直前「咲か」は未然形。未然形＋「ぬ」＝打消。直後が体言「夜」なので連体形と判定できる。

Q3. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雪降りぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 **解説：**「降り」は四段動詞「降る」の連用形。

Q4. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ人。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**「知ら」は四段動詞「知る」の未然形。直後が体言「人」。

Q5. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

夜更けて、人みなぬ。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の終止形 **解説：**「ぬ」一語で「眠る」の意。「寝」と書いて「ぬ」と読む下二段動詞。直前に動詞の連用形・未然形ともなく、文末で「眠る」という意味になる。

Q6. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月出でぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 **解説：**「出で」は下二段動詞「出づ」の連用形。

Q7. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行かぬ道。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**「行か」は四段動詞「行く」の未然形。

Q8. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

夜更けぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 **解説：**「更け」は下二段動詞「更く」の連用形。「夜が更けた」の意。 **注意：**Q5「人みなぬ」は下二段動詞「寝」、Q8「夜更けぬ」は別動詞「更く」+完了「ぬ」。直前が動詞の連用形なら完了、「ぬ」だけで動詞として成立するなら下二段「寝」。

Q9. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

見えぬ山。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**「見え」は下二段動詞「見ゆ」の未然形（連用形と同形）。直後が体言「山」のため連体形と判断 → 打消。

Q10. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬる人。

答え：ナ変動詞「死ぬ」の連体形「死ぬる」 **解説：**ナ変は終止「ぬ」・連体「ぬる」。直後が体言「人」なので連体形「ぬる」全体で動詞。よってこの「ぬ」は単独の助動詞ではなくナ変動詞の一部。

Q11. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

春過ぎて夏来たりぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 **解説：**「来たり」（カ変＋ラ変補助のラ変連用形）。連用形＋「ぬ」＝完了。

Q12. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ間に。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**「知ら」は未然形。直後が体言「間」。

Q13. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

帰りて、すなはちぬ。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の終止形 **解説：**「寝（ぬ）」一語。「すなはち」（＝そのまま）の後に「ぬ」で「すぐに眠った」の意。

Q14. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雨止みぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q15. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

思はぬことを言ふ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**「思は」は四段動詞「思ふ」未然形。直後が体言「こと」。

Q16. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

春過ぎて夏来ぬらし。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形（直後に「らし」が接続） **解説：**「らし」は終止形接続の助動詞。よって「ぬ」は終止形＝完了。「来（き）」はカ変動詞「来」の連用形。

Q17. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ顔。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q18. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

春来ぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 **解説：**カ変「来（く）」の連用形「来（き）」＋「ぬ」。

Q19. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

よくぬる人。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の連体形「ぬる」 **解説：**副詞「よく」（＝ぐっすり）＋下二段動詞「寝」連体形「ぬる」＋体言「人」。「ぐっすり眠る人」の意。連体形は「ぬる」一語で動詞。

Q20. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行かぬ人。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

【第2部】標準編（Q21～Q50）

「ぬ」の後に別の助動詞が続くパターン、ナ変動詞、係り結びとの絡み、下二段「寝」の各活用を増やします。

Q21. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

春過ぎて夏来ぬべし。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 **解説：**「来」はカ変連用形「き」。「ぬ」の直後の「べし」は終止形接続（活用語の終止形に付く）。よって完了「ぬ」終止形。

Q22. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行く春を惜しまぬ人がある。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**「惜しま」は四段「惜しむ」未然形。直後が「人」。

Q23. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雪降りぬらむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 **解説：**「らむ」は終止形接続。

Q24. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

やすくぬる夜。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の連体形「ぬる」 **解説：**副詞「やすく」（＝安らかに）＋下二段「寝」連体形「ぬる」＋体言「夜」。「安らかに眠る夜」の意。

Q25. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

思はぬかたへも。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q26. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

鳥啼きぬ。月傾きぬ。

答え：両方とも完了の助動詞「ぬ」終止形

Q27. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

君が代の千代に八千代に変はらぬかぎり。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 解説：「変はら」は四段未然形。直後が体言「かぎり」。

Q28. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬばかりに苦し。

答え：ナ変動詞「死ぬ」終止形（または連体形「死ぬる」） 解説：「死ぬ」はナ変動詞。終止形「死ぬ」、連体形「死ぬる」。直後「ばかり」は副助詞で活用語の連体形・終止形に接続。ここはナ変動詞「死ぬ」全体を一語として処理する。

Q29. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ顔して通り過ぐ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q30. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

風吹きぬ。波立ちぬ。

答え：両方とも完了の助動詞「ぬ」終止形

Q31. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ世にこそ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q32. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月隠れぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q33. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

言はぬは言ふにいや勝る。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**「言は」は未然形。直後の「は」は係助詞で、連体形に接続することがある（準体法）。

Q34. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

夜深くぬれば、夢のごとし。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の已然形「ぬれ」 **解説：**「ぬれ」は下二段「寝」の已然形。接続助詞「ば」（已然形接続）が続く。「眠ってしまえば」の意。

Q35. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雪消えぬぎはの山道。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**「消え」は下二段「消ゆ」未然形（連用同形）。直後が体言「ぎは（際）」なので連体形 → 打消。

Q36. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行きぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 **解説：**「行き」は四段連用形。

Q37. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬぞ恥なる。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**「知ら」は未然形。直後「ぞ」は係助詞（係り結びの始発）。連体形止め。

Q38. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

夜明けぬべし。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q39. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

我が思ふ人は来ぬらむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 解説：「来（き）」はカ変連用形。「らむ」は終止形接続。「来た（だろう）」の意。

Q40. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

言はぬこそ言ふにまされ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q41. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

桜散りぬらむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q42. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬる人。

答え：ナ変動詞「死ぬ」連体形「死ぬる」 解説：ナ変は終止「ぬ」・連体「ぬる」。直後が体言「人」なので連体形「ぬる」全体で動詞。

Q43. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雨やみぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q44. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬ仏よりなじみの鬼。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q45. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

山深み春とも知らぬ松の戸に絶え絶えかかる雪の玉水。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 解説：「知ら」は四段未然形。直後が体言「松」。

Q46. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

ねぶたくぬ。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の終止形 解説：副詞「ねぶたく」（＝眠そうに）＋「ぬ」。「眠たくて眠った」の意。「寝」一語の終止形。

Q47. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

紅葉散らぬ山なし。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q48. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

我が世過ぎぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q49. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行く方知らぬ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 ※準体法（連体形止め）

Q50. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月見ぬ夜なし。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

ここから、「ぬ」が複合する形（「ぬべし」「ぬらむ」「ぬめり」「なむ」など）と、下二段「寝」のあらゆる活用形、紛らわしい構造を扱います。

Q51. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

あづまの方に住むべき国求めに、とて、行きけり。京には見えぬ鳥なれば…

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 解説：『伊勢物語』東下り。「見え」は下二段未然形（連用同形）、直後「鳥」が体言で連体形と判断。京では「見えない鳥」。

Q52. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

風吹きぬべし。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形（強意で「きっと～だろう」） 解説：「ぬ+べし」は「完了+推量」だが、意味は「強意+推量=きっと～だろう」。完了の意味は薄れる。

Q53. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

名のらぬこそ恥なれ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q54. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

あはれ忘れぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 解説：「忘れ」は下二段「忘る」連用形。

Q55. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

過ぎぬべき道。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 ※「ぬべき」=強意+推量 解説：「過ぎ」上二段連用形 + 「ぬ」終止 + 「べき」連体形。「きっと通るだろう道」。

Q56. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

涙落ちぬばかりなり。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形（強意「今にも～しそうだ」）**解説：**「ぬばかり」は通常「今にも～してしまいそうなほど」（強意）と「～したばかり」（完了直後）の両解釈があるが、ここでは涙が「今にも落ちそうな」の意で取るのが文脈に自然。

Q57. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

言はぬばかりの顔つき。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」**解説：**「言わないばかりの＝言わんばかりの」。

Q58. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

涙落ちぬばかり泣く。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形（強意）

Q59. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

来ぬ人を待つ宵の更けゆけば。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」**解説：**百人一首 藤原定家。「来（こ）」はカ変未然形。直後が体言「人」。「来ない人を待つ」。**注意：**カ変「来」は未然形「こ」・連用形「き」と形が違うので識別しやすい。

Q60. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

来ぬらむと思ふに。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形**解説：**「来（き）」カ変連用形＋「ぬ」終止＋「らむ」終止形接続。「来ただろう」。

Q61. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

山桜散りぬめり。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 解説：「めり」は終止形接続。「散ってしまうようだ」。

Q62. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

思ひもよらぬことを言ふ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q63. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

いと安らかにぬる夜なり。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の連体形「ぬる」 解説：「安らかに」（=穏やかに）＋下二段「寝」連体形「ぬる」＋体言「夜」。「とても穏やかに眠る夜だ」。

Q64. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬことは恥にあらず。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q65. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

散りぬべき花。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形（強意）

Q66. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

来ぬ夜は嘆く。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 解説：「来（こ）」カ変未然形。

Q67. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬる命の惜しからず。

答え：ナ変動詞「死ぬ」連体形「死ぬる」 解説：「ぬる」全体で連体形。

Q68. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

風吹きぬらし。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q69. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

言はぬは花のごとし。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」（準体法）

Q70. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

散らぬ花なし。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q71. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

人もえ知らぬ家。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 解説：「知ら」は未然形。

Q72. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月いでぬらむ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 解説：「いで」下二段「出づ」連用形 + 「ぬ」終止 + 「らむ」終止形接続。

Q73. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

在原業平の歌、忘れぬものを。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 解説：「忘れ」は下二段未然形（連用同形）。直後の「ものを」（接続助詞）は連体形接続。

Q74. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

春来ぬべし。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形（強意「きっと春が来るだろう」）

Q75. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

夜こと深くぬれば、人皆出でぬ。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の已然形「ぬれ」 解説：「ぬれ+ば」（已然形+接続助詞「ば」）。「夜が更けて眠ってしまえば」の意。なお同文末の「出でぬ」は完了「ぬ」終止。

Q76. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

浮きたることなく沈みぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q77. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

飽かぬ別れ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q78. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

雁鳴きぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q79. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

桜咲けど 香らぬぞ口惜しき。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 解説：「香ら」は四段未然形。「ぞ」係助詞 → 係り結びで連体形結び。

Q80. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

命終はりぬべし。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形（強意）

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

実際の入試で頻出する難所を集めました。前後の文脈と助動詞の知識をフル動員。下二段「寝」の応用も含む。

Q81. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

いと思はずなるものを、と思ひて、見ぬやうにて過ぐ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 **解説：**「見」は上一段「見る」の未然形「み」（連用形と同じ形）。直後が体言「やう」なので連体形「ぬ」と判断 → 打消。

Q82. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

月の明かき夜、はかなく更けぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 **解説：**「更け」は下二段「更く」連用形。Q5・Q46と紛らわしいが、ここは下二段「寝」ではなく「更く」+完了。

Q83. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬべくおぼゆ。

答え：ナ変動詞「死ぬ」終止形（「死ぬ」全体で一語） **解説：**「べく」（推量「べし」連用形）は基本的に終止形接続。ナ変動詞「死ぬ」（ナ・ニ・ヌ・ヌル・ヌレ・ネ）の終止形「死ぬ」+「べし」の構造で、「死んでしまいそうに思える」。ラ変型・形容詞型・ナリ活用などには連体形接続となる例外あり。

Q84. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

知らぬを恥とせず。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」（準体法）

Q85. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

静かにぬれば、夢に故郷をぞ見る。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の已然形「ぬれ」 解説：「静かに」＋下二段「寝」已然形「ぬれ」＋接続助詞「ば」。「静かに眠ると」の意。Q34・Q75と同じ構造の「眠れば」。

Q86. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

来ぬ人をまつほの浦の夕なぎに焼くや藻塩の身もこがれつつ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 解説：百人一首 藤原定家。「来（こ）」未然形。

Q87. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

大将御覧じて、いたく心動きぬべきけしきなり。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形（強意） 解説：「動き」四段連用形＋「ぬ」終止＋「べき」連体形。「きっと心動かされそうな様子」。

Q88. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

御簾の内に思はずなることもあり、心づかぬことも多かり。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」 解説：「心づか」は四段未然形。

Q89. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

ふしぎの仰せを承りぬ。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q90. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

死ぬるほどの病。

答え：ナ変動詞「死ぬ」連体形「死ぬる」

Q91. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

いざ給へ、出で**な**むよ、と急がした**ま**ふに、出で**ぬ**。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q92. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

心も知ら**ぬ**人を頼みけるかな。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q93. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

鳥啼き、月落ち、夜明け**ぬ**べき気色なり。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形（強意「夜明けしてしまいそうな気色」）

Q94. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

御帳の内にいたく**ぬ**れば、夢のごとし。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の已然形「ぬれ」 **解説：**副詞「いたく」（=ひどく）＋下二段「寝」已然形「ぬれ」＋接続助詞「ば」。「ひどく眠ると、夢のようだ」の意。 **注意：**「濡れる」の「ぬれ」（下二段「濡る」）と紛らわしいが、文脈で「眠り深く」の意味なら下二段「寝」。

Q95. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

命の終はり**ぬ**らむさまを思ひやるに。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形

Q96. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

行く方知ら**ぬ**こそあはれなれ。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」（準体法、係り結び「こそ→已然形」）

Q97. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

過ぎぬべきほどなり。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形（強意）

Q98. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

ふと、思ひも寄らぬ人の文きたり。

答え：打消の助動詞「ず」連体形「ぬ」

Q99. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる。

答え：完了の助動詞「ぬ」終止形 解説：古今和歌集 藤原敏行。「来（き）」カ変連用形 + 「ぬ」終止形 + 引用の「と」。「秋が来たと、目にははっきり見えないけれど」。文末「おどろかれぬる」の「ぬる」は完了「ぬ」連体形（係助詞「ぞ」の結び）。

Q100. 次の傍線部「ぬ」を識別せよ。

いとよくぬれば、夜更けにけり。

答え：下二段動詞「寝（ぬ）」の已然形「ぬれ」 解説：「いとよく」（=ぐっすり） + 下二段「寝」已然形「ぬれ」 + 接続助詞「ば」。「ぐっすり眠ってしまうと、夜が更けてしまった」。**最終問題のポイント**：下二段「寝」は基礎(Q5・Q13)→標準(Q19・Q24・Q34・Q46)→応用(Q63・Q75)→入試(Q85・Q94・Q100)と各レベルに散らした。完了「ぬ」との見分けは「直前が動詞の連用形 or 副詞」「ぬ単独で動詞として成立するか」で判定する。

巻末：復習ルート

ルート①：間違えた問題だけ100問通し 1周目で × がついた問題だけを抜粋して、3日後にもう一度解く。

ルート②：パターン別総復習 - 完了「ぬ」だけ抜粋 → Q1, 3, 6, 8, 11, 14, 16, 18, 23, 26(両), 30(両), 32, 36, 38, 39, 41, 43, 48, 52, 54, 55, 56, 58, 60, 61, 65, 68, 72, 74, 76, 78, 80, 82, 87, 89, 91, 93, 95, 97, 99 - **打消「ず」連体形「ぬ」だけ抜粋** → Q2, 4, 7, 9, 12, 15, 17, 20, 22, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 40, 44, 45, 47, 49, 50, 51, 53, 57, 59, 62, 64, 66, 69, 70, 71, 73,

77, 79, 81, 84, 86, 88, 92, 96, 98 - ナ変動詞「死ぬ」「死ぬ」だけ抜粋 → Q10, 28, 42, 67, 83,
90 - 下二段動詞「寝（ぬ）」だけ抜粋 → Q5, 13, 19, 24, 34, 46, 63, 75, 85, 94, 100

ルート③：間違いやすい複合形を集中暗記 - 「ぬべし」「ぬらむ」「ぬめり」「ぬらし」（完了+推量）
- 「ぬばかり」（強意） - 「ぬれば」（下二段「寝」已然形+ば）

著作権について 本ドリルの著作権は中本裕太（個別指導塾フィット）に帰属します。個人学習用以外の複製・転載・販売を禁じます。

更新：2026-05-12（試作第2版：下二段「寝」追加） 作成：Claude + 中本裕太